

おもいっきり甲府城

開催報告

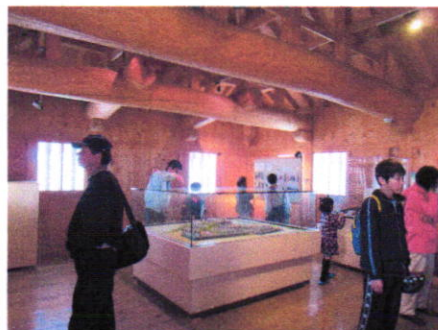
2004年（平成16年）から、信玄公祭にあわせて開催されている特別展を平成26年4月4日（金）～同13日（日）まで、県指定史跡甲府城跡の鉄門および稲荷櫓において開催しました。

今回は、幕末から明治・大正・昭和にかけての甲府城と城下町にスポットをあてて紹介しました。

第一会場の稲荷櫓では、「甲府勤番同心から新政府高官へ～初代駒通正 杉浦譲とその周辺」と題し、わが国の近代化に重要な役割を果たした杉浦譲にスポットをあて、パネルで紹介しました。



杉浦譲にスポットをあてた展示



展示会場のようす

第二会場では、甲府市出身の三沢一也さんが収集した貴重な絵はがきを通して、幕末から明治・大正・昭和の甲府城下と周辺の建造物や町並み、乗り物、服装などの賑やかな甲府の移り変わりを楽しめる展示を行いました。



絵はがきの古写真とパネル展示



甲府市街全図を使った街の説明

また、体験イベントとして泥メンコ遊びや千両箱体験、紋切り体験、かぶと作りを行いました。



かぶと作り



泥メンコ遊び



紋切り体験

甲州寺子屋講演会



4月6日（日）に恩賜林記念会館（甲府城跡内）において甲州寺子屋講演会が開催され、当日は41名の参加がありました。

講演会では、当センターの八巻與志夫所長が「幕末から日本の近代化に活躍した甲府勤番士関係者たちの系譜」と題し、杉浦謙と関係者の系譜（徼典館の学頭や福沢諭吉など）について講演していただきました。

来館者人数 集計表		
	稲荷櫓	鉄門
4月4日	104	212
4月5日	475	349
4月6日	433	445
4月7日	休館日	
4月8日	86	106
4月9日	148	53
4月10日	57	53
4月11日	78	76
4月12日	117	140
4月13日	219	159
合計	1715	1593



展示関連の新聞記事（山梨日日新聞）